

シャクルトンの大漂流 Yク

ウィリアム・グリル 作／千葉 茂樹 訳／岩波書店



1914年、イギリス人のシャクルトンは大冒険の準備をととのえて、南極を目指して旅立ちました。

しかし、船は大きな氷に囲まれて進めなくなり、とうとう氷によって船が破壊され、孤立無援になるシャクルトンたち。

厳しい寒さ、乏しい食料。この困難の中、生きて帰るために、シャクルトンたちは力を合わせ、知恵と工夫をこらします。約

2年にわたるハラハラドキドキの冒険。

星の旅人 いのうただたか —伊能忠敬と伝説の怪魚— 91コ

小前 亮 作／小峰書店

寛政十二年、伊能忠敬は幕府の許可を得て蝦夷地へと測量の旅に出ました。

この年、忠敬は数えて五十六歳になっていましたが、当主の地位を長男にゆずってからの第二の人生を、天文と測量の学問にささげていました。この旅はその成果を見せる絶好の機会でした。

旅は、悪天候でなかなか船が出なかったり、雨で測量が出来なかったり苦勞の連続です。それでも地道に真摯にやりとげようとす姿に心打たれます。



楽しい雪の結晶観察図鑑 451.6

武田 康男 著／緑書房

クリスマスシーズンになるとよく見かける雪の結晶のオーナメント、キラキラしてきれいですね。でも、本物の雪の結晶は六角形や6本の枝が基本なので、枝が5本や8本の物はおかしいそうです。街中で雪の結晶を見かけたら注目してみてください。

この本では日本で見られる結晶を、美しい写真と共に解説しています。

折り紙や冷凍庫での雪の結晶の作り方も出ています。



地球温暖化を解決したい

—エネルギーをどう選ぶ?— 519.3

小西 雅子 著／岩波書店

地球温暖化を解決するカギはエネルギーの選び方。二酸化炭素を出さない水力、風力、太陽光などの再生可能エネルギー、そして石油や原子力など。それぞれのエネルギーの長所や短所をわかりやすく解説します。どのエネルギーをどう選ぶか、みんなで考えよう。

シリーズが続々登場!

岩波ジュニアスタートブックス (ジュニスタ)

「未来をつくるあなたへ」 中満 泉 著

「地震はなぜ起きる?」 鎌田 浩毅 著ほか、いろいろあります。

